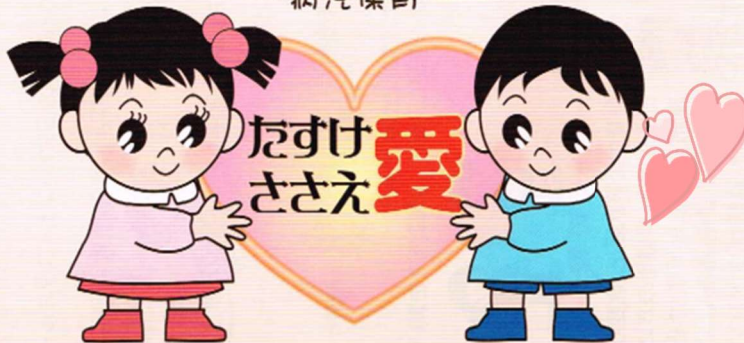


あいあいきつぷ

病児保育



令和5年2月号

梅のつぼみが膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。暦の上では春を迎えています、まだまだ朝晩の冷え込みに背中が丸まってしまうます。

さて今年度も残り2カ月を過ぎました。本県での新型コロナウイルス感染症の新規感染者は減少傾向にあります。政府より5類相当の引き下げが示され、春には大きな動きがある事が伝えられています。これまでの with コロナの生活に慣れた私としては多少の不安はありますが、新たな明るい未来に進むことを願います。また子ども達の発達や成長の環境がさらに拡充され、子育て世代の皆さんが、もっと楽に子育ての出来るアフターコロナになって欲しいと思います。来期が楽しみです
ね(^o^)/~~

アレルギー性鼻炎

体がある物質を異物と認めると、それらから身を守るため抗体が作られます。再び鼻から異物が入ってくると、粘膜内の抗体がアレルギー反応を起こし、くしゃみ・鼻水・鼻閉が発現します。抗原になりやすい原因物質は、ホコリ、ダニ、スギ等の花粉、犬や猫等のペットです。

治療方法 ○原因物質の排除が原則

○内服薬や点鼻薬等で症状をコントロールする

○免疫療法 抗原のエキスを内服しながら体を慣らす治療

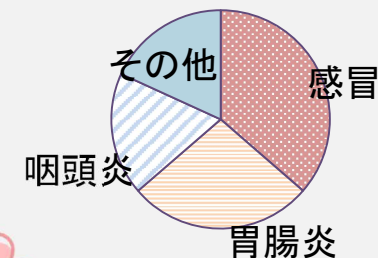
尚、今シーズンの県内は去年の約1.4倍のスギ花粉飛散量が予想されています

鹿児島県感染症情報

2023年	(報告週)	第4週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	762	8.28	3,503
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	22	0.41	66
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.13	40
	感染性胃腸炎	423	7.83	1,324
	水痘	1	0.02	17
	○ 手足口病	30	0.56	79
	○ 伝染性紅斑	2	0.04	5
	突発性発しん	12	0.22	55
	ヘルパンギーナ	6	0.11	31
	流行性耳下腺炎	1	0.02	8
	○ RSウイルス感染症	40	0.74	106
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	2	0.29	6
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
報告数合計		1,308	0	5,240

○印は前週比増

1月利用児病名割合



予約受付時間7:30~20:00(月~土)

(日曜・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきつぷ

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

